

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団(多治見市豊岡町1丁目55番地)
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)笠原体育館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)笠原体育館の利用許可に関すること。 (3)利用料金の徴収に関すること。 (4)スポーツ振興事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	5点	平均値比(施設全体)=109.7%=56.4%÷平均値51.4%	平均値比(%)=(R5年度実績)÷(R3、4年度実績平均値) ・第1競技場 111.8%=68.8%÷51.5% ・第2競技場 116.4%=50.5%÷43.4% ・第3競技場 107.3%=49.7%÷46.3% ・施設全体平均 109.7%=56.4%÷51.4%	5点			
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		平均値比(施設全体)=123.8%=73,776人÷59,610人			平均値比(%)=(R5年度実績)÷(令和3、4年度実績) ・第1競技場 107.7%=27,810人÷25,818人 ・第2競技場 139.7%=17,300人÷12,384人 ・第3競技場 124.1%=9,271人÷7,472人 ・個人利用 125.6%=2,758人÷2,197人 ・トレーニング室 141.7%=16,637人÷11,741人 ・施設全体平均 123.8%=73,776人÷59,610人	5点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	※年次報告書P396～P397参照(事業一覧) (1)トレーニング講習会(116回開催・226人参加) (競技場の利用は回復したが、トレーニング室などの個人利用はピーク時の60～70%程度)	仕様書以上 12点	・新型コロナが5月から5類相当に移行し、体育館事業に限らず大会等も制限なく開催されるようになった。 ・競技場の専用利用はコロナ前の水準まで戻り、賑わいを取り戻しました。 ・地域や他施設との連携で広域での人の交流の機会を提供しました。	12点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	※年次報告書P398～P401参照 ＜利用促進事業＞ (1)スポーツ教室の申込にネット申込を導入。利用者増、スタッフの事務効率化を実現。 (2)トレーニング室利用促進キャンペーン 昼の利用を促進するため、近隣スーパーと連携しドリンクプレゼントを実施。 ＜スポーツ教室＞ (2)個人・少人数指導型教室(鉄棒・跳び箱の日・全11回・207人参加) (3)自由参加型スポーツ事業(卓球の日・全11回・414人参加) (4)ボウリング教室、ハンモックヨガ教室、走り方教室、卓球交流会等	期待以上 13点	・民間事業者と連携し、幅広いジャンルのスポーツイベントに取り組んでいる。 ・体育館、中央公民館、図書館がそれぞれの特色を活かし連携することで、子どもたちが楽しみながら参加できる環境を作り出している。	12点				
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・報告書P376(笠原中央公民館 清掃業務)参照 施設・トイレ清掃/毎日、ガラス・窓枠清掃/年2回、床洗浄・ワックス仕上げ/年1回	適正(普通) 2点	適正に実施されている	10点					
		②保守・点検			・報告書P377(笠原中央公民館 保守・点検)・P404(保守・点検)参照 トレーニング機器保守点検/機器動作:毎日、総合:年3回	適正(普通) 2点	適正に実施されている						
		③保安・警備			・報告書P378(笠原中央公民館 保安・警備) 常駐警備/開館日、機械警備/夜間・休館日	適正(普通) 2点	適正に実施されている						
		④小規模修繕			・報告書P404(小規模修繕) 計19件 1,231,581円	適正(普通) 2点	適正に実施されている						
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・報告書P405(危険箇所の把握) ・毎朝開館前に館内点検を実施し、朝礼時及び都度連絡、毎月の課内会議で情報共有。 ・建物全体及び敷地内は公民館と情報を共有し、迅速に対応。 ・利用報告書、利用者とのコミュニケーションの中から不具合箇所等を把握し、出来る限り予防保全対応。 ・大規模修繕に係る修繕箇所は、定期点検チェックシート、建物修繕箇所調査票で状況を記録し、市へ報告。 ・館内のスポーツ器具は定期的に安全チェック表に基づいた点検を行い、不具合のあるものは出来る限り速やかに修理、入れ替えを実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている						

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
2 施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・ファイリングによる文書管理を徹底している。 ・個人情報の収集は最小限に努めている。 ・パソコンの画面は利用者から見えないように配慮。	適正(普通) 2点	適正に実施されている	14点			
		②環境への配慮			・更衣室シャワーは節水タイプを使用。 ・不要となった雑誌は利用者に無料配布。 ・不要になったスポーツ用品を集め、バザーを行い、売り上げを売上を能登半島地震の義援金として寄付。	期待以上 3点	適正に実施されている				
		③バリアフリー			・入口や通路は、動線を妨げないよう配慮。 ・アジア系外国人利用者の増加に対応するため、利用案内等の英語併記を開始。 ・第1競技場に車椅子で来館された方には、急な階段がなく入室が困難な為、公民館内のエレベーターを使い、公民館や図書館職員の協力を得ながら会場へご案内しています。特に令和5年度は笠原中央公民館の大規模修繕により動線の制限が多くあったため、施工業者、公民館と常に連携して安全に受け入れができるようサポートをしました。(スタッフが付き添っての誘導、エレベーター停止時の車いす利用者の担ぎ上げなど)	期待以上 3点	適正かつ期待以上に管理されている				
		④備品管理			・貸出用の軽スポーツ用品は、貸出前及び返却後に状態をチェックし、必要に応じて迅速に修繕を手配。 ・卓球、バドミントン、バスケットボール、テニスなどのネットの消耗が激しい備品についてはスベアを常時ストックし、傷みが目立った時に速やかに交換。 ・テニス支柱、卓球台の入れ替え、バスケットゴールのフレーム修理など、まだ使えるものの老朽化などで大きな事故リスクが生じる可能性が高くなると判断して予防対応しました。 ・多治見市備品の軽スポーツ道具の管理は、貸出前後にチェックをして不具合を見つけた場合は文化スポーツ課へ連絡、更新や修理をおこなっていただくようにしています。 ・バスケットゴール、トレーニング室機器は専門業者による定期点検をおこなっています。 ・スタッフによる日常点検だけでなく、お客様との日常のコミュニケーションの中から不具合等の聞き取りをおこない、必要な場合は迅速に修繕等の対応をしています。 ・安全面の配慮だけでなく、快適性も考慮して共用部の長椅子、テーブルなどを入れ替えました。長椅子が担架としても使える製品も3台導入し、事故対応力も高めまし	期待以上 3点	適正かつ期待以上に管理されている				
		⑤個人情報保護			・名簿等個人情報の収集は最小限にとどめ、キャビネット内で適正に保管 ・事業での記録撮影及び利用許諾はあらかじめ参加者の同意を得ている。 ・トレーニング室利用者カードをバーコード式に変更し、入場時の情報等記入を無くすことでプライバシーに配慮しています。	期待以上 3点	適正に管理されている				
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・通常の施設運営において、重大な事故はありませんでした。 ・大会主催者等が救急車を要請した際は、誘導などのサポートをおこないました。 ・熱中症の注意喚起、症状が出た場合に氷や経口補水液を提供するなど迅速な初期対応をおこないました。	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に管理されている ・事故後の迅速な対応がなされている。	0点			
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入106,425,227円÷支出104,433,566円＝102% (笠原中央公民館、図書館笠原分館含む)	105%未満～100%:4点	【参考】 ①施設単独の指定管理料 38,849千円 ②施設独自の収支(人件費、本部経費等を除く) (1)収入／利用料金収入7,200千円、文化事業収入424千円、雑収入603千円 (2)支出／管理運営費4,447千円、文化振興事業費258千円	4点			
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	報告書P407参照 ・笠原中央公民館大規模改修に伴って生じる諸問題について、施設間の調整や利用者のニーズ対応などを適切に実施。	期待以上 9点	・利用者からの要望に対し、迅速かつ適切に対応できている。 ・利用者のニーズ把握に努め、スポーツや運動が実施しやすい環境整備について、具体的に計画し実施されている。	9点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・利用者同士のマナー・モラルに起因する苦情について、丁寧に対応しました。	期待以上 5点	・状況の把握を適切に行い、迅速に対応できている。	5点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	報告書P408参照 公民館の交流センター化に伴い予想される客層や人の流れの変化に柔軟に対応しました。	期待以上 14点	・イベント時の駐車場や休憩スペースの不足など、複合施設であるがゆえの課題に対しても、より多くの利用者ができるだけ快適に利用できるよう、他施設と協議しながら工夫して取り組んでいる。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類に遅れなく、内容についても適切である	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等特になし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計89点	極めて良好	
						【全体的な評価】 ・民間事業者と連携し、幅広いジャンルのスポーツイベントに取り組んでいる。 ・トレーニング室利用者を増やすために、地元スーパーと連携するなど、工夫を凝らしている。 ・笠原中央公民館改修工事により、通常業務に加え、利用者や施設間の調整や対応が必要となったが、迅速かつ柔軟に対応できた。					